

トラバース

地盤から、「安心」と「安全」な暮らしをつくる。
調査・設計・改良・擁壁まで。地盤対策をワンストップで。

Company Profile / 「地盤対策のプロフェッショナル」

TRIVERS

トラバース

VISION

地盤から、社会の“当たり前”を支える

建物の価値を守るのは、目に見えない「地盤の品質」です。

トラバースは、敷地調査・設計・改良・擁壁を一気通貫で担い、暮らしと街の基盤を支え続けます。

品質の見える化で、
安心できる判断材料を提供する

現場力 × 技術開発で、
短納期・高品質を両立する

ワンストップで、
手戻りや分断をなくす

MESSAGE

地盤対策のパイオニアとして、誠実に、強く



住宅も建築も、最後に問われるのは「見えない部分の信頼」です。地盤は完成後にやり直しが効きません。だからこそ私たちは、調査・設計・施工の全工程で“根拠ある品質”にこだわり続けてきました。

現場の知見を技術に落とし込み、機械や仕組みを自社で磨き上げる。そうして、ムダのないコスト設計や短納期といった要求に応えながらも、品質を妥協しない体制をつくってきました。トラバースは、地盤対策を通じて、お客様の事業と暮らしを支える「パートナー」であり続けます。

代表取締役社長 久保田さく良

約束

安全 / 品質 / 誠実

COMPANY

地盤・測量・施工の総合力で、住まいと街づくりの安全を支える企業

〈拠点〉



- ① 本社・千葉営業所
三幸製作所
原木工場
- ② 仙台営業所
- ③ 福島出張所
- ④ 栃木営業所
- ⑤ 群馬出張所
- ⑥ つくば営業所
- ⑦ 東京営業所
- ⑧ 西東京出張所
- ⑨ 埼玉営業所
- ⑩ 神奈川営業所
- ⑪ 長野営業所
- ⑫ 新潟出張所
- ⑬ 山梨営業所
- ⑭ 静岡営業所
- ⑮ 浜松出張所
- ⑯ 岡崎営業所
- ⑰ 名古屋営業所
- ⑱ 北陸営業所
- ⑲ 京滋営業所
- ⑳ 大阪営業所
- ㉑ 姫路営業所
- ㉒ 岡山営業所
- ㉓ 広島営業所
- ㉔ 福岡営業所
- ㉕ 熊本出張所

海外拠点：トラバースベトナム事務所

〈関連会社〉



株式会社 **トラバース**
エンジニアリング

株式会社トラバースエンジニアリング
調査・測量・施工の現場を担い、培われた技術力と確かな品質で信頼に応える専門会社です。



株式会社 **三幸製作所**

株式会社三幸製作所
機械・設備の開発力と製造力で、グループの技術と現場を支える会社です。



地質調査・土質試験のコンサルタント
株式会社 **土質エンジニア株式会社**

土質エンジニア株式会社
地質調査・土質試験・土壌地下水汚染調査を基盤に、地盤解析から改良提案・関連工事まで一貫して担う地盤技術会社です。



株式会社 **土質基礎コンサルタンツ**

株式会社土質基礎コンサルタンツ
地質・地下水・土壌汚染の調査を核に、地盤・基礎分野の課題解決を担う総合コンサルティング会社です。

〈サービスラインナップ〉

- | | |
|-----------|-------------|
| 測量調査 | 土壌汚染対策工事 |
| 地盤・地質調査 | 地中障害物除去工事 |
| 解析・各種土質試験 | 山留工事 |
| 設計 | 環境開発事業 |
| 地盤改良工事 | 地盤保証 |
| 擁壁・公共工事業 | 機械装置開発・応用技術 |

トラバースなら安心・安全です

PROOF

地盤対策の実績が、信頼の根拠

トラバースは、案件数だけでなく「品質と再現性」で選ばれてきました。調査精度、設計の妥当性、施工品質を一連で担保し、プロジェクト全体のリスクを減らします。

1 〈タイガーパイル累計実績〉 累計 **12万** 棟

2 〈対応力〉 拠点 **25** 拠点

対応エリア **日本全国**

3 〈技術力〉 自社開発・保有機械

施工機 **221** 台(うち、自社開発重機102台)

ボーリングマシン **23** 台(すべて自社開発)

ユンボ **145** 台

独自工法・運用 **newタイガーパイル・Tr-wing擁壁ほか20工法**



WHY GROUND

地盤対策は、「備え」ではなく「前提条件」

建物トラブルの多くは、完成後に気づきます。

沈下・傾き・クラック…原因が地盤だと判明した時には、工期も費用も大きくなりがちです。

だからこそ、最初に“正しく知り、正しく備える”ことが重要です。

起きること

不同沈下／傾き／
クラック／設備不具合

困ること

補修費増・工程遅延・
資産価値低下・説明責任

良くなること

設計の確度 UP /
改良過不足の削減 /
長期安心



地盤は見えない。でも、品質は見える化できる。

DIFFERENCE

はやい・やすい・うまい…ではなく、「分断がない」強さ。

1 ワンストップ体制
→ 敷地調査／設計／改良／擁壁まで一気通貫

2 現場起点の技術開発
→ 現場課題を仕組みに落とし込み、品質を安定化

3 短納期対応
→ 自社チーム連携で手戻りを減らす

4 コスト最適化
→ 必要十分な設計・施工で“過不足”を抑える

5 品質の見える化
→ 記録・管理・報告の型化で再現性を担保

一言で言うと /

「地盤のことは全部、トラバースで完結」



ONE-STOP FLOW

地盤対策は、最初から最後まで一貫通貫

一括発注・一括管理を実現。

測量・調査・解析・設計・施工・保証までを社内連携で一本化。

工程が分断されないため、判断が早く、手戻りが少なく、品質が安定します。



〈一貫通貫の利点〉

- ◎ 窓口が一つ → 調整負担の軽減
- ◎ 判断が早い → 設計・施工の手戻りを低減
- ◎ 品質が安定 → 工程全体を同じ基準で管理



SCOPE MAP

地盤まわりの“できること”を、取りこぼさない。

地盤対策の周辺領域まで含めて対応可能です。

必要な部分だけのご相談も、全体をまとめたご相談も、どちらも歓迎します。



調査・解析 (上流)

測量調査：
計画の前提となる基準点・現況把握
地盤・地質調査：
地盤の性状を把握し、リスクを見える化
解析・各種土質試験：
設計判断につながる正確なデータ取得



設計・相談

設計：
調査結果を最適な仕様・
工法へ落とし込み
地盤対策のコンサルタント



施工 (現場)

地盤改良工事：
品質とコストを最適化
擁壁・公共工事業業：
造成・外構も含めて一貫対応
山留工事：
周辺環境に配慮した掘削・仮設計画
地中障害物撤去工事：
既存杭・ガラ等の障害を撤去し基礎工事をサポート
土壌汚染対策工事：
土壌汚染を除去し、環境と健康を守る



保証・安心

地盤保証：
万一に備える仕組みで
発注者の不安を軽減



周辺・開発領域 (相談が多い“意外枠”)

環境開発事業：
環境配慮・土壌まわり等の周辺課題に対応
機械装置開発・応用技術：
自社技術で施工品質・効率を改善 (横断)

こんな相談さ！
OK

責任分界が不安
調査～施工まで
整合した説明が可能

工期が厳しい
工程分断を減らして
前に進める

どこに頼むべきか分からない
最適な進め方から
整理します

CASE STUDY 01

判断の精度を上げる、地盤調査。

地盤対策の出発点は、正しい“把握”です。

トラバースは、現場条件に合わせた調査計画と、読み解きの精度にこだわり、

設計・改良の判断材料をつくります。

調査結果は、次工程（設計／改良／擁壁）に直結する形で共有し、

工程全体の手戻りを減らします。

繁華街における地下付き物件の建替え工事 -測量・ボーリング調査～地中障害撤去・杭打設まで-

① 前提条件（舞台設定）

東京都千代田区の繁華街に位置するビルの建替え計画において、中規模ゼネコン様より、既存建物の地下室および既存杭の撤去、ならびに新築建物を支える新設杭の打設についてご相談をいただいた。

② 課題（直面した問題）

通常、地下室の解体工事では、隣地境界際に親杭横矢板工法による土留めを打設し、隣地の外構や建物、地盤の崩壊を防ぎながら安全に解体するための仮設工事が必要となる。加えて、道路境界付近にも同様の土留めを設置し、沿道掘削の許可申請を行政へ行った上で、解体工事を進める必要がある。

しかし、解体予定の建物および地下室は、隣接建物や道路側溝に極めて近接しており、土留めの施工が困難な状況であった。そのため、地下室を残置したまま建築工程を成立させるという課題が浮上した。さらに、既存建物は増改築を繰り返しており、同一建物内で構造が混在していたうえ、既存建物の図面も残っていなかった。結果として、地下室や既存杭に関する正確な情報がほとんどない状態で、計画を立案しなければならない状況であった。

③ 提案（変化を生んだ打ち手）

当社は、以下の提案を行った。

- ボーリング調査により、地盤の硬さ、土質、水位状況を把握する。
- ボーリング調査の過程で、地下室底盤の厚さやピットの有無を確認する。
- 解体前に地下室内部を測量し、地下の状況を図化する。
- ボーリングデータと既存建物の階数等から、既存杭の種類および長さを推定する。
- 地下図面（測量成果）から、柱位置に既存杭が存在する可能性を整理する。
- 配置図と地下図面を重ね合わせ、地下室と干渉する新設杭位置について、マルチドリル機を用い、Φ1000のケーシングで地下室底盤および側壁を部分的にくり抜いた上で新設杭を打設する工法を提案した。
- 地下部より下に既存杭が残置されている懸念があるため、マルチドリルでくり抜いた孔に対してΦ1000のオーガー試掘を実施し、既存杭の有無を確認する手順を併せて提案した。

- ▶ケーシングの使用により、近隣構造物・地盤・道路の崩壊リスクを抑えつつ部分解体が可能となる。
- ▶地下室を全面解体して産廃処分・客土を行う方法と比べ、コストと工期の圧縮が見込める。
- ▶既存杭がない箇所は、新設杭が問題なく施工できることを確認。
- ▶既存杭が干渉する箇所は、マルチドリル機による撤去を行う。
- ▶ピンポイント解体により、搬出残土・ガラ発生量を大幅に低減できるため、ダンプ通行を最小限に抑え、交通振動・騒音の低減につながる点も進言した。

④ 現場での工夫（実行で効いたポイント）

事前に正確な測量ができたことで、後工程の杭打設計画に支障を出さず、必要箇所に限定して地中障害物を撤去できた。また、ボーリング調査により地下室底盤の厚さやピットの存在を確認できたため、マルチドリル機（重量50t）の荷重でピット部が崩壊しないよう、流動化処理土で空洞部を充填し、重機搬入を円滑に行えた。

さらに、試掘により既存杭の有無を同時に確認したことで、大型重機の出戻りを防止し、無駄なコストを抑制できた。測量から杭打設までをワンストップで実施できた結果、工期遅延や追加費用、近隣クレームの発生を抑え、高い評価を得ることができた。

成果

[数字で見る結果]

通常工法（地下室全面解体→杭打設）：約 60 日

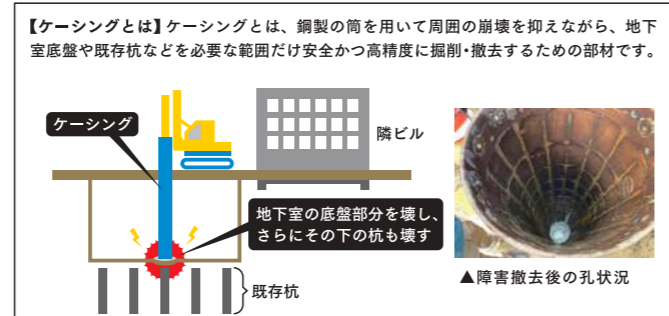
当社提案工法（部分解体→杭打設）：約 30 日

工期を約30日短縮 約50%削減

さらに、以下の効果も！

- 近隣地盤・構造物の破損、変形、傾斜の防止
- コスト半減
- 調査から工事までの調整・やり取りが減少し、現場監督の負担を軽減
- 進捗の随時報告による情報共有の強化（トラブルにも即時対応）
- 測量・写真撮影等による記録の徹底
- 騒音・振動の低減により、近隣環境負荷を大幅に低減
- 確実な地中障害撤去により、新設杭の品質を確保

結果として、安全・品質・コスト・現場対応力をご評価いただき、「安心して任せられるパートナー」として高い信頼を獲得した。



CASE STUDY 02

地盤改良は、「過不足なく」やるほど強い。

地盤改良は、やれば安心ではなく、適切な工法・仕様を選ぶことが品質とコストを左右します。

トラバースは、調査・設計と地続きで改良計画を組み、

現場条件に最適な施工を行います。

自社の現場知見と技術を活かし、短納期でも品質を安定させる運用を実現します。

由緒ある神社の土地を、次世代につなぐ街づくりへ -地盤調査から造成・擁壁・地盤改良まで一貫対応-

① 前提条件（舞台設定）

東京都練馬区にある由緒ある神社が所有する土地の一部を、将来の街づくりまで見据えた宅地として開発する計画が立ち上がった。

本計画では、

- ◆地盤調査
- ◆造成工事
- ◆擁壁（自立式）工事
- ◆建物下の地盤改良工事

を当社が一貫して請け負う体制とし、土地の特性・周辺環境・建物計画を総合的に踏まえた開発が求められた。

元請けからは、建物計画の自由度を高めるため「底版のない擁壁を計画したい」という要望があり、当社の自立式擁壁工法が採用された。

② 課題（直面した問題）

当社の自立式擁壁は、高さ2m以下で使用する任意擁壁として実績を重ねてきた工法である。

そのため、宅地開発というスケールの中で採用するには、

- ◆設計上の根拠
- ◆構造的な安全性
- ◆品質確保の考え方を明確に示す必要があった。

さらに、

- ◆開発行為の承認から
- ◆建物引き渡しまで

の期間が限られており、在来擁壁工法よりも大幅な工期短縮が求められるプロジェクトでもあった。

加えて、一部隣地との高低差が最大3.5mある区画では、通常の設計・施工では対応が難しい条件も存在していた。

③ 提案（変化を生んだ打ち手）

当社は、以下の提案を行った。

- 自立式擁壁の設計根拠・構造計算・施工管理方法を明確化
- 底版のない擁壁計画により、建物配置・基礎計画の自由度を向上
- 高低差3.5mの区画については、協力業者の自立式擁壁工法を採用し、当社が監理のもとで施工を実施

これにより、安全性・品質・工期短縮を同時に満たす計画が実現した。

④ 現場での工夫（実行で効いたポイント）

施工途中、地中から井戸や室（空洞）が確認される場面もあった。しかし当社は、

- ◆現地状況を即座に把握
 - ◆設計変更案・対策工事を迅速に検討
 - ◆元請けへ具体的な対応策を即提案
- することで、工程を止めることなく対応。

また、

- ◆擁壁工事完了後に
- ◆宅地仕上げレベルまでの造成
- ◆そのまま地盤改良の設計・施工

までをワンストップで実施し、工程管理・品質管理の面でも高い評価を得た。

成果

[数字で見る結果]

在来擁壁工法：約 70 日

当社工法：約 30 日

工期を約40日短縮 約57%削減

さらに、以下の効果も！

- 底版のない擁壁計画により建物計画の制約を軽減
- 擁壁に関する役所検査も設計・品質ともに問題なく一発合格
- 地盤調査～造成～擁壁～地盤改良まで1社完結施工により元請けの管理負担を大幅に軽減

結果として、品質・スピード・柔軟な対応力のすべてを評価され、「安心して任せられるパートナー」として高い信頼を獲得した。

施工の流れ



底版のない擁壁計画により建物計画の制約を軽減

INTERVIEW

「この会社、いいな」が伝わるのは“人”。

CULTURE

強い現場は、強い文化から。



- Q1** **トラバースの仕事で大事にしていること**
すべての物件は、内容も条件も千差万別。だからこそ、一件ごとに最適な提案をすること。それが、しっかりした工事に繋がる出発点だと考えています。
- Q2** **この仕事の面白さ／難しさ**
難しい案件ほど、提案までのハードルは高い。でも、その提案が通った瞬間がいちばん面白い。難しさと面白さは、いつも表裏一体です。
- Q3** **成長を感じた瞬間**
最初は「トラバースさん」と呼ばれていた現場で、ある日自分の名前と呼ばれるようになる。信頼が個人に宿った瞬間、自分の成長を実感します。
- Q4** **一緒に働く人へメッセージ**
私自身、途中で右も左も分からず入社しました。それでも続けてこられたのは、相談できる仲間がいたから。安心して飛び込んでください。



- Q1** **トラバースの仕事で大事にしていること**
家は、住む人の暮らしを支えるもの。その地面の中を担うのが私たちの仕事です。一つひとつ決められた手順を、丁寧に正確に。縁の下の力持ちとして向き合っています。
- Q2** **この仕事の面白さ／難しさ**
難しさは、センチ単位の誤差も許されない正確さ。面白さは、自分が携わった現場に実際に人が住んでいる光景を見られること。「ここ、やったな」と思える瞬間です。
- Q3** **成長を感じた瞬間**
敷地が狭く、機械を入れるだけで精一杯の現場。擁壁ぎりぎりでの作業。難しい条件の現場を、何事もなくやり切れたとき。自分の成長を実感します。
- Q4** **一緒に働く人へメッセージ**
体を使って働きたい人には、本当に向いている会社です。スポーツしてきた人、体を動かすのが好きな人なら、きっと活躍できる。雰囲気もいいので、前向きに楽しく働けると思っています。



- Q1** **トラバースの仕事で大事にしていること**
設計は、調査から工事へバトンをつなぐ仕事。次の工程に支障が出ないよう、すべての対応に誠意を持って取り組むことを大切にしています。
- Q2** **この仕事の面白さ／難しさ**
土地ごとに最適な工法を選び、安全性を重視する。一方で、安全に振りすぎれば費用は上がる。そのバランスを取ることが、難しさであり面白さです。
- Q3** **成長を感じた瞬間**
以前は先輩に逐一確認していた質問にも、今は自分で「こう答えればいい」と即座に判断できるように。難しい物件を任せられ、受注まで導けたとき、成長を実感します。
- Q4** **一緒に働く人へメッセージ**
設計と聞くと専門知識が必要に思えますが、私自身、入社後に学んで身につけたことばかり。少しでも興味があれば大丈夫。CADで図面を描いてみたい方も、ぜひ挑戦してみてください。



- Q1** **トラバースの仕事で大事にしていること**
調査は、すべての工程の出発点。その先に住む人や家族の暮らしまで見据えて、正確な情報を、正確な図面で届けること。それが私たちの責任だと思っています。
- Q2** **この仕事の面白さ／難しさ**
現場は、敷地も条件もひとつとして同じものがない。だからこそ難しい。調査を行った土地に後日通りかかり、家が建ち、人が暮らしている光景を見るのが何よりの喜びです。
- Q3** **成長を感じた瞬間**
入社当初は先輩と2人1組で、教わりながら現場をこなす毎日。今では自分が主任となり、助手を連れて測量から図面、納品までを完結できる。独り立ちした瞬間の達成感は、忘れられません。
- Q4** **一緒に働く人へメッセージ**
私も最初は何も知らないところからのスタートでした。それでも続けてこられたのは、知識豊富で優しい先輩たちのおかげ。和気あいあいとした調査部で、安心して働ける環境です。

文化を“行動”で定義

安全
を最優先する

ルールを現場で徹底する

誠実
に説明する

根拠・判断材料・選択肢

改善
を続ける

小さな工夫を標準化する

チーム
でやり切る

分断せず最後まで伴走

技術は人がつくり、文化が技術を強くする。
トラバースは“現場起点”で進化します。

A DAY (Sakura Training Center)

入社後のイメージが湧く、教育センターの一日。



- 08:30 佐倉 教育センター集合／本日のテーマ共有
- 09:00 座学（安全・品質・基礎知識）
- 10:30 実技（ツール確認／手順の反復）
- 12:00 昼休憩
- 13:00 実技（想定ケースでの判断・段取り）
- 15:30 振り返り（チェック項目・改善点）
- 16:30 明日の準備／解散



POINT

基礎を“再現性ある型”として学び、
現場で迷わない力をつける。

最年少で取締役へ。— 成長のチャンスは、すべて現場にある —

取締役 山中 隆一 / 2003年入社

- 1 スタートは、栃木の現場だった。
2003年に入社し、現場からキャリアをスタート。栃木営業所の調査課・工事課に配属。工事主任・リーダーとして、求められる成果をひたすら追い続ける日々のなかで、知識と技術の一つずつ積み上げた。
- 2 次は、“人をまとめる”側へ。
神奈川工事で工事課長に。現場を動かすだけでなく、人と組織を動かす責任を担うようになる。自分の成果ではなく、課としての成果を出すための視点を身につけた時期だった。
- 3 そして、“難工事”と“ルールづくり”の両輪。
本社では特殊工事事業部を任せられ、擁壁工事をはじめとする難工事に数多く対応。同時に工事指導室の責任者として、安全と品質を守るためのルール・手順の整備、現場への指導にも取り組んだ。“現場を動かす力”と“仕組みをつくる力”の両方を磨いた。
- 4 2025年、創業50期の節目に、最年少で取締役就任。

本人メッセージ

特別な才能があったわけじゃありません。ただ「目の前の仕事に本気で向き合い続けた」。それだけです。現場には、成長の機会が必ずあります。難しい仕事ほど、自分を大きくしてくれる。だからトラバースは、若手にも責任ある仕事を任せ、その挑戦を支える環境があります。大切なのは「やりきる力」と「挑戦する姿勢」。一緒に、次の時代の会社をつくっていきましょう。

BENEFITS

安心して挑戦できる環境を。

働き方

週休2日制／夏季休暇／
冬季休暇／有給休暇／
育児休暇

成長支援

資格取得支援／
研修／OJT

“安心して働ける”
だけでなく、
“早く伸びる”
仕組みを整えています。

生活支援

独身寮完備／扶養手当／
企業型拠出年金(DC年金)／
新NISA(つみたて投資枠)

安全衛生

安全教育／装備／
健康管理

部活動 — 好きなことで、仲間とつながる —

仕事だけじゃない、もう一つの居場所。
部署や世代を越えて、汗を流し、笑い合える時間があります。



野球部
実績：全国大会・関東大会出場
年数回の定期戦を開催



バスケットボール部
実績：月1回の練習、初心者歓迎



囲碁部
実績：社内大会・他社交流戦、
未経験から始めるメンバー多数



地盤の相談窓口、ひとつにしませんか。

「安心」で「安全」な暮らしを地盤から

 **トラバース**

株式会社トラバース

本社〒272-0121 千葉県市川市末広 2 丁目 4 番 10 号
TEL.047-359-4111 FAX.047-359-4115
<https://www.travers.co.jp/>

